

こども服交換会
こども服おゆずり会
フォーマル服レンタル会
事業報告書

株式会社京葉十二社広告社

2024年2月



1. 対象地域の概要

■ 対象地域：東京都江戸川区

- 面積：49.09平方キロメートル（東京23区中4番目に広い）
- 人口：約70万人
- 年齢分布：比較的ファミリー層が多い
 - ・ 年少人口（0～14歳）は87,549人（23区平均の約1.8倍、区人口の12.4%）
 - ・ 合計特殊出生率は1.20（東京23区中2番目に高い）

➤ 区の特徴

東京23区で一番公園面積が広い。水辺の特色ある公園が多く、古川親水公園は日本初の親水公園であり、葛西臨海公園は都内唯一のラムサール条約登録地である。

待機児童が2022年に「0」を記録。子育て支援が充実している。

➤ 区の関連施策

令和元年度以降コロナ禍の2年を除く3年間にわたって、年に1度「ばとんたち」（こども服交換会）を実施。当社令和3年度以降、（京葉十二社広告社）は区からの協力要請を受け、イベントの告知とボランティアの募集、開催のノウハウをお伝えする等の協力を実施（すべて無償対応）。

2. 事業の目的

- 2024年3月までの期間において、こども服交換会、おゆずり会を通じて、こども服をリユースする活動について広く周知してもらい、『衣類を大切に循環させる仕組みの活用』を提案
→子育てひろば関係者、子ども会、区内企業に自主開催を提案
- モデル事業での成果を踏まえ、協力企業を獲得していくための指標となる支援の金額、取り組みの協力について提案・相談するための資料を作成する。
- 子育てひろばでの常設開催
→全国の子育てひろばでの開催に広がりが期待できる。
- 子ども会での輪番制開催
→子供会の課題（参加者減少、知名度が低いなど）の解消に、交換会を活用
→会員不足の課題を持つ全国の子供会に広がりが期待できる。

2024年2月までに開催予定の「フォーマル服レンタルの会」、「交換会」「おゆずり会」を、子供会関係者に見学・手伝いいただけるよう、声掛けする。

実績ができることで、区内のほかの子供会への広がりが期待できる。

3. 事業の内容

- こども服のリユース促進のためのイベント（交換会・おゆずり会・フォーマル服のレンタル会）を江戸川区内で計6回開催した。

イベント名	概要
こども服交換会	■ 区内施設で年に2～3回開催 ■ すぐに着られなくなってしまうこども服を、ご近所の欲しい方に大切に繋いでいくイベントとして、平成元年から開催。 ■ 持ち込み枚数分持ち帰るというルールで開催してきたが、在庫数が増えてきたので、平成5年度は持ち帰り枚数制限なしで開催。過剰在庫はおゆずり会で放出。
こども服おゆずり会	■ 区内イベント会場で年3～4回開催 ■ こども服交換会で過剰となったこども服（特に小さいサイズの服）を自由に持ち帰ることができるイベントとして開催。 ■ 当日は持ち帰りのみで、衣類の回収はしない。 ■ 会場に持ち込んだ服の大部分を参加者の皆さんが持ち帰るので、リユース率の高いイベントとなっている。
フォーマル服のレンタル会	■ 年1～2回開催 ■ 卒業や入学のためのフォーマル服を用意できない家庭に無償で貸し出して、笑顔でハレの日を迎えてほしいという思いで開催。着る機会が少なく、捨てられず、そのまま保管している家庭も多く、区民からの寄付だけでなく全国から送料を負担して送ってくださる方も多い。

3. 事業の内容

イベント名・開催日	効果検証の方法	備考
こども服交換会 (2023年11月26日(日))	■ 参加世帯数、集まった衣類の数・持ち帰った衣類の数の集計 ■ 感想の聞き取り ■ アンケート実施	■ 江戸川区松江 貞明町会・子ども会主催で実施 ■ 子供会役員の感想の聞き取りを実施
こども服おゆずり会 (2023年12月2日(土))	■ 参加世帯数・持ち帰った衣類の数の集計 ■ 感想の聞き取り ■ アンケート実施	■ 江戸川区小岩「足を止めたくなる居心地の良い空間づくりについての実証実験」イベント会場内で実施
こども服おゆずり会 (2023年12月16日(土))	■ 参加世帯数・持ち帰った衣類の数の集計 ■ 感想の聞き取り ■ アンケート	■ さくら公園「葛西さくらパークカフェ」(江戸川区環境部水と緑の課主催)会場内で実施
こども服交換会 (2023年12月23日(土)) と同時開催	■ 参加世帯数、集まった衣類の数・持ち帰った衣類の数の集計 ■ 感想の聞き取り ■ アンケート実施	■ 子育てイベント「ハギユットフェス」と同時開催 ■ 子ども会から、ジュニアリーダーがお手伝いスタッフとして参加 ■ 区の「子育てひろば」職員が4名見学
フォーマル服レンタル会 (2023年12月23日(土)) と同時開催	■ 参加世帯数の集計 ■ 感想の聞き取り ■ アンケート	■ 江戸川区環境部部長が見学
フォーマル服レンタル会 (2024年2月11-12日(日・祝))	■ 参加世帯数の集計 ■ 感想の聞き取り ■ アンケート	

4. 実施体制

- 本事業の実施にあたっては、当社（京葉十二社広告社）が企画・運営を行い、江戸川区こども会連合会およびひとりじゃないよ。プロジェクトから支援を得た。
- 次年度以降の取組の継続・拡大を見据え、こども会による運営支援、江戸川区（区の運営する「子育てひろば」含む）の職員による見学等を実施。

団体名	役割	備考
京葉十二社広告社	・ 本事業の企画・運営 ・ イベントの広報（自社Webサイト、「子育てちゃんねる」公式LINE、SNS、チラシ配布・ポスター掲示等により実施） ・ イベント当日の運営 ・ ボランティア募集、サポート	こども服交換会（令和元年～）、こども服おゆずり会（令和3年～）、フォーマル服レンタル会（令和3年～）を自主的に開催。
江戸川区こども会連合会	・ イベント開催場所の提供 ・ こども服の事前回収の支援 ・ イベント当日の運営支援	江戸川区内における地域におけるこどもたちの社会体験、文化体験、スポーツ・レクリエーション体験、奉仕体験などの場を提供する非営利団体。区内に活動場所（会館）を複数有する。
ひとりじゃないよ。プロジェクト （区議会議員まみやゆみ事務所）	・ イベントの運営支援 ・ 衣類の保管場所提供 ・ ボランティア募集、サポート	令和2年度以降、京葉十二社広告社と連携してこども服交換会、フォーマル服レンタル会の開催を支援

5. 事業の成果

- こども服交換会・おゆずり会（計4回）の参加世帯数は約385世帯、集まった衣類の数は6,339枚、持ち帰った衣類の数は4,671枚だった（注）。

実施時期	開催日	参加世帯数	集まった衣類の数	持ち帰った衣類の数	リユース率
こども服交換会	2023年11月26日	68	1,300	340	26.2%
こども服おゆずり会	2023年12月2日	80	488	459	94.1%
こども服おゆずり会	2023年12月16日	50	316	214	67.7%
こども服交換会	2023年12月23日	187	4,235	3,658	86.4%
	合計	385	6,339	4,671	

（注）参加世帯数：こども服交換会（ ・ ）については、寄付のみを行った世帯と交換会当日の参加者の両方を含む。

集まった衣類の数：こども服交換会（ ・ ）の場合、事前回収分、当日回収分の両方を含む。また、過去のイベントで発生した在庫分も活用しているため、重複してカウントしている衣類がある旨に留意。

リユース率：各回の持ち帰った衣類の数÷集まった衣類の数により算出。ただし、発生した在庫は後のイベントで活用しているため、実際にリユースされた衣服の割合は上表中の数値より大きい。

- フォーマル服レンタル会（計2回）の参加世帯数は合計52世帯であった。

実施時期	開催日	参加世帯数
フォーマル服レンタル会	2023年12月23日	14
フォーマル服レンタル会	2024年2月11～12日	38
	合計	52

5. 事業の成果

こども服交換会（2023年11月26日（日）、貞明町会・貞明こども会 会館にて開催）

（注）本会は、こども会の存在・活動を知ってもらうきっかけとして、こども会主催で開催した。

【事業の成果】

A. 参加世帯数	68世帯（うち寄付のみ 23世帯、交換会参加 45世帯）
B. 集まった衣類の数	合計1,300枚（うち事前回収480枚、当日回収820枚）
C. 持ち帰った衣類の数	340枚
D. リユース率（C÷B）	26.2%（ただし、余った衣類は全て別イベントの在庫として活用）

【スタッフ数】合計11名（京葉十二社広告社1名、ボランティア10名）

【総評・課題】

こども会主催としたことをきっかけに、こども会の課題（会員が増えない、情報発信ができていない）等が明確になった。

交換会は参加者・運営スタッフ双方から好評であったが、人員や労力がかかることが課題として挙げられた。

参加者

とても楽しかった。予想以上に良いものがあったありがたい。思っていたより衣類の数が多くて驚いた。とてもいい企画なのでこれからも続けてほしい。

運営スタッフ

参加者の皆さんに喜ばれ、感謝され、とてもよかった。事前の衣類の分別作業が大変だった。衣類の回収は常設の場所があるといいと思った。

町会長 こども会会長

とても良い会であり、今後もつなげていくべきである。いかに負担を少なく開催するかが課題である。



5. 事業の成果

こども服おゆずり会（2023年12月2日（土）、商店街内のスペースで開催（注））

（注）地域住民への周知等を目的に、小岩駅付近の再開発地区の活性化を目的に実施されたイベント「足を止めなくなる居心地の良い空間づくりについての実証実験」（KOITTO主催）のスペース（小岩郵便局前）で開催

【事業の成果】

A. 参加世帯数	約80世帯
B. 集まった衣類の数	488枚（一部、11/26交換会の在庫を含む）
C. 持ち帰った衣類の数	459枚
D. リユース率（C÷B）	94.1%（ただし、余った衣類は全て別イベントの在庫として活用）

【スタッフ数】合計4名（京葉十二社広告社1名、学生ボランティア3名）

【総評・課題】

前回の交換会で在庫として残った衣類の一部を会場に持参したが、ほぼ全て提供できた。

告知期間が短く、告知方法もチラシのみと限定されていたが、開催時間前から30人ほどの行列ができ、開催スタートから約1時間で用意した衣類が半分以下になった。
近隣住民の参加が多く、初めて取組を知った方も多く見られた。

開催を喜ぶ声が多かった一方、少し遅れてきた参加者より「選ぶ服が少ない」といった声も聞かれたが、交換会と異なりすぐに在庫を補充することができないためやむをえないと判断。



5. 事業の成果

こども服おゆずり会（2023年12月16日（土）、区内の公園で開催（注））

（注）地域住民の周知等を目的に、同日に江戸川区東葛西さくら公園で開催されたイベント「葛西さくらパークカフェ」（主催：江戸川区環境部花と緑の課主催）スペース内で開催

【事業の成果】

A. 参加世帯数	約50世帯
B. 集まった衣類の数	316枚（一部、11/26交換会の在庫を含む）
C. 持ち帰った衣類の数	214枚
D. リユース率（C÷B）	67.7%（ただし、余った衣類は全て別イベントの在庫として活用）

【スタッフ数】合計2名（京葉十二社広告社1名、アルバイト1名）

【総評】

告知期間が短く、告知方法も主催者が配布したチラシと弊社のオンライン発信のみと限定されていたが、天気も良く、区のイベントに来場した方がおゆずり会に参加するパターンが多かった。

今回初めて取り組みについて知ったという人も何人かいたが、子育てのLINEを見て参加した人が多かった。

たまたまイベントに来ておゆずり会を知ったという人の中に、「うちにも着られなくなったこども服がたくさんあるから、こういう使い方をしてくれるならぜひ提供したい」という声を複数いただいた。



5. 事業の成果

こども服交換会（2023年12月23日（土）、江戸川区グリーンパレス（公共施設）で開催）

（注）より多くのファミリー層に取組を周知するため、区内の子育てイベントと同時開催した。 と同時開催。

【事業の成果】

A. 参加世帯数	187世帯
B. 集まった衣類の数	4,235枚（過去に開催したイベントおよび 11/26交換会の在庫を含む）
C. 持ち帰った衣類の数	3,658枚
D. リユース率（C÷B）	86.4%（ただし、余った衣類は全て別イベントの在庫として活用）

【スタッフ数】合計30名（京葉十二社広告社4名、ひとりじゃないよ。プロジェクトスタッフ1名、アルバイト16名、ボランティア10名） レンタル会と共通

【総評】

非常に大きな反響があり、13時の回は事前予約、14時の回は予約不要としたが、13時の回50名は予約フォームオープンから2分で満席になった。キャンセル待ちが80名以上であった。

区内最大の子育てイベントと同時開催したため、同イベント会場からの流入も多かった。

在庫が多かったため、持ち帰り枚数の制限を無くして、無制限で持ち帰れるようにした。

残り分は春以降のイベントでおゆずり会を開催し、提供する予定。



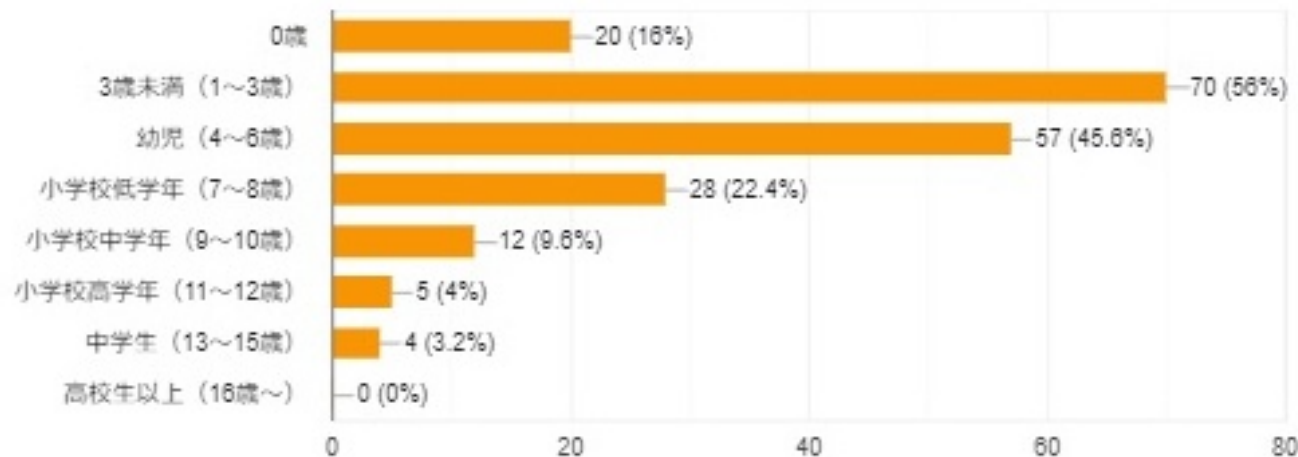
5. 事業の成果

～ こども服交換会・おゆずり会：アンケート結果（1/3）（回答数：125）

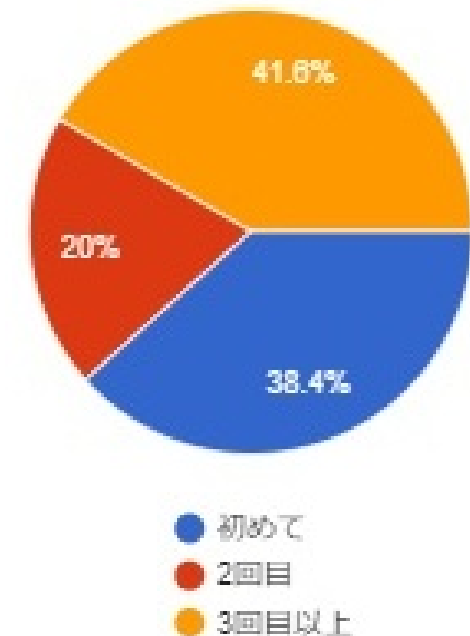
< 回答者の属性（こどもの年齢、参加回数） >

- 回答者のこどもの年齢を聞くと、特に「1～3歳」または「4～6歳」のこどもがいる割合が5割前後と多く、比較的若年層のこどもを持つ家庭からの参加が多いことが伺える。
- フォーマル服レンタル会への参加回数は、初めての方が38.4%、複数回以上参加している方が合計61.8%であった。

【こどもの年齢】



【参加回数】



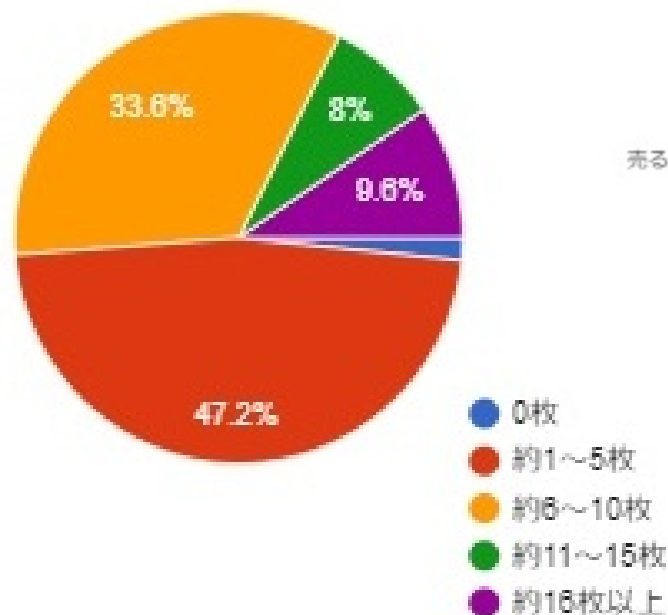
5. 事業の成果

～ こども服交換会・おゆずり会：アンケート結果（2/3）（回答数：125）

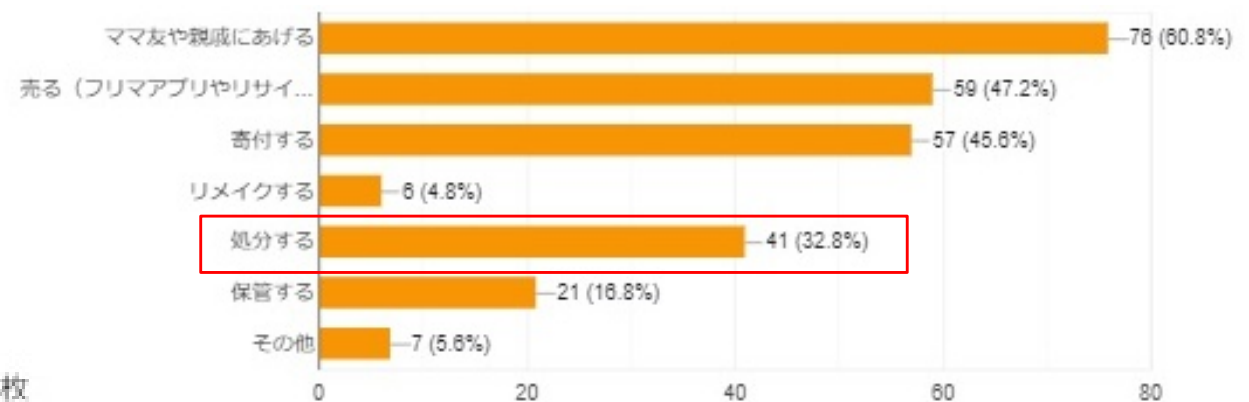
< イベント開催によるリユース促進のポテンシャル >

- 季節毎のこども服の購入数は、約1～5枚が最も多く47.2%で、約6～10枚が33.6%と続く。
- サイズアウトしたこども服の処分等の方法について尋ねると、「処分する」を選択したのは32.8%であり、おゆずり会・交換会・レンタル会がこれから処分される服の受け皿となれる可能性がある。

【こども服の季節毎の購入数】



【サイズアウトしたこども服等の処分方法】



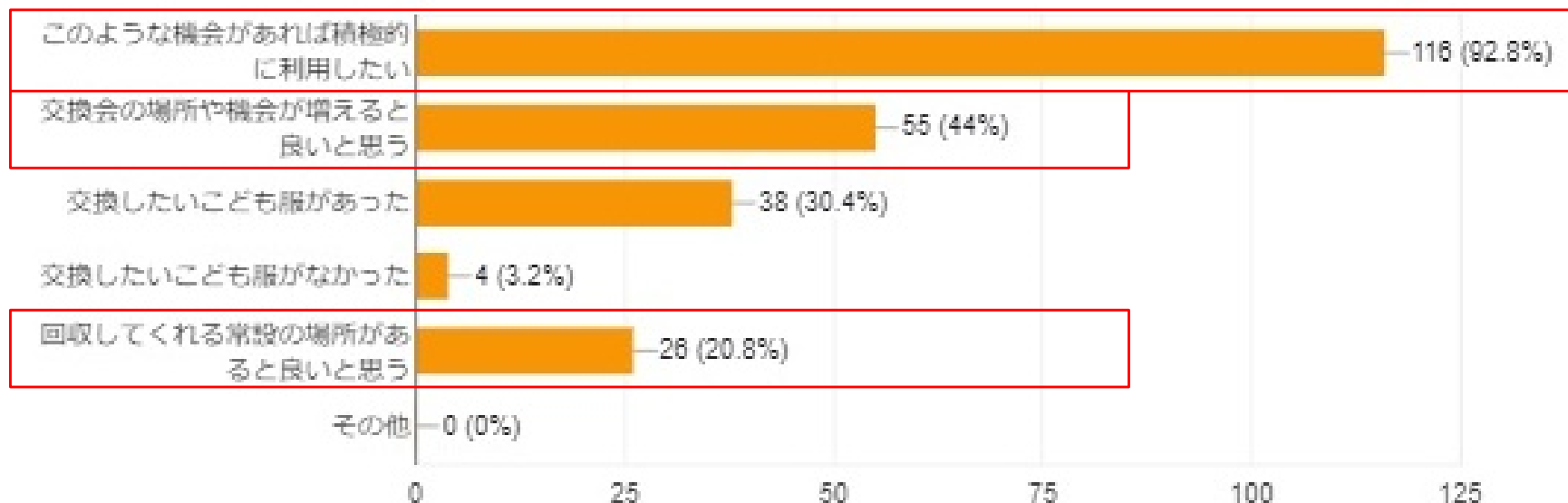
5. 事業の成果

～ こども服交換会・おゆずり会：アンケート結果（3/3）（回答数：125）

< 今後のイベントへの参加意向 >

- イベントへの感想は概ね好評であり、具体的には以下の回答が得られた。
 - ・機会があればまた参加したい：92.8%
 - ・場所が近いことや、回数が増えることを希望：44.0%
 - ・回収場所の常設を希望：20.8%
- 現状、会場確保の都合から開催可能な回数が2～3回／年と限られている。
開催回数の増加やスムーズな回収場所の確保のため、地域団体と共に検討を進めたい。

【イベントの感想】



5. 事業の成果

・ フォーマル服レンタル会

(2023年12月23日(土)、2024年2月11日(日)・12日(祝)開催、 と同じ公共施設開催)

(注)2023年12月開催分は、より多くのファミリー層に取組を周知するため、区内の子育てイベントと同時開催した。 と同時開催。

【事業の成果】

A. 参加世帯数	合計：52世帯 (2023年12月：14世帯、2024年2月：38世帯) 2024年2月の来場者数は200名
----------	--

【スタッフ数】

2023年12月：合計30名(京葉十二社広告社4名、ひとりじゃないよ。プロジェクトスタッフ1名、アルバイト16名、ボランティア10名) と共通

2024年2月：合計25名(京葉十二社広告社1名、ひとりじゃないよ。プロジェクトスタッフ1名、ボランティア23名)

【総評・課題】

フォーマル服レンタル会開始して以来3年となるが、2024年2月の参加者数は過去最大であり、ある程度地域住民に定着したことが伺える。

従来は事前予約を必須としていたが、他イベントからの流入も想定し、予約なしでもレンタル可としたところ、当日にレンタル会を知った人からも参加いただけた。

参加者からは上質なフォーマル服を無料で借りられることを喜ぶ声が多く聞かれた。「フォーマル服を着る機会は少ないが、それぞれの場面では必要で、仕方なく購入してきたが、レンタル会があったらとても助かると思う」という声が多数聞かれた。

寄付は全国から届くが、基本レンタル会であるため在庫は増える一方である。月に2~3着郵送で寄付分が届き、フォーマル服の在庫は500着程度に上る。在庫の管理と、利用者の拡大が課題である。

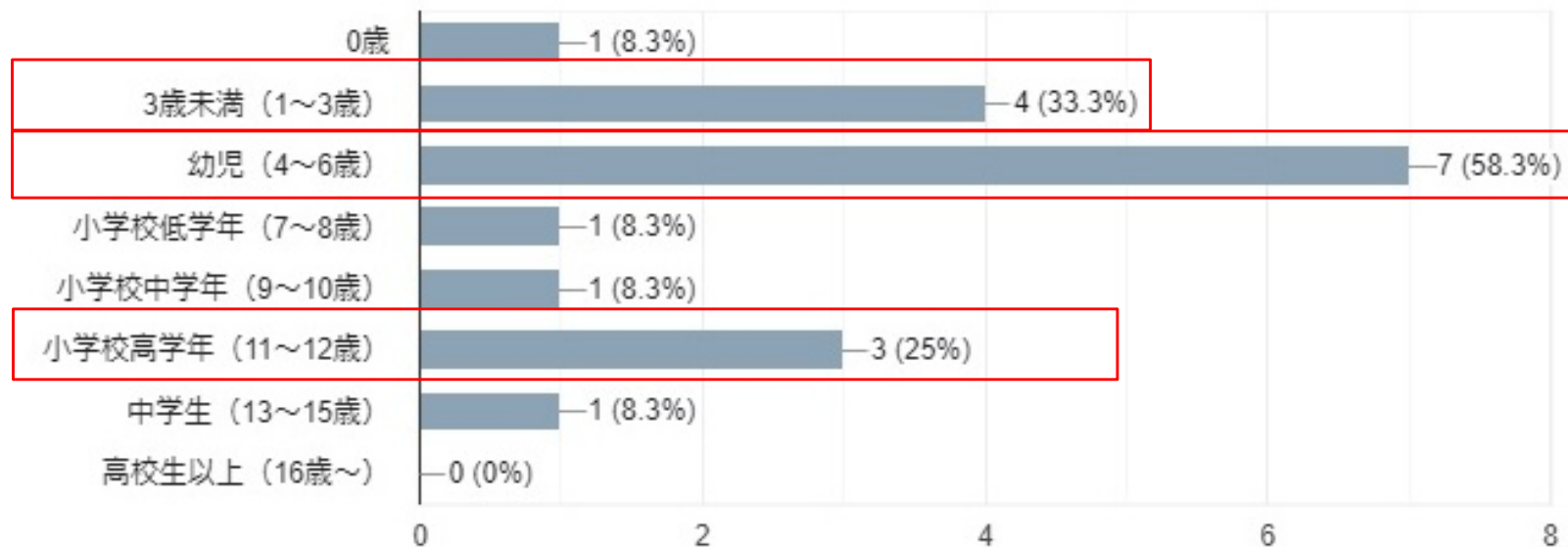
5. 事業の成果

・ フォーマル服レンタル会：アンケート結果（1/3）

< 回答者の属性（こどもの年齢） >

- フォーマル服レンタル会の参加者に対してこどもの年齢を尋ねたところ、「4～6歳」を回答した割合が約6割で最も多く、「1～3歳」と「11～12歳」が約3割と続く。（ただし母数が12と少ない点に留意）。

【こどもの年齢】（回答数：12）



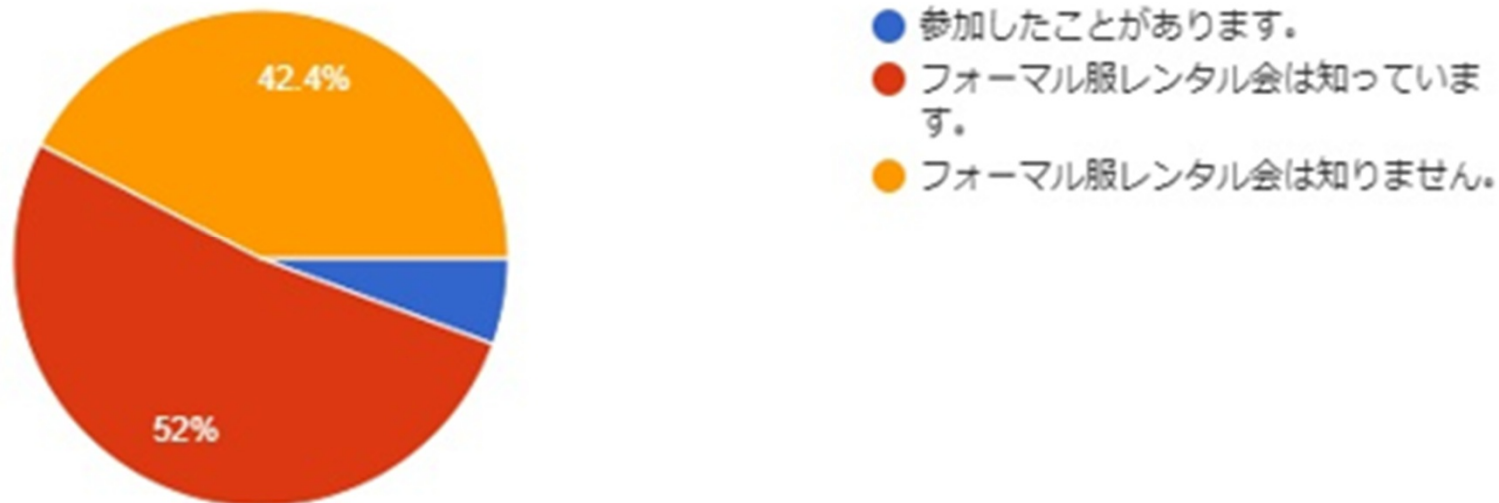
5. 事業の成果

・ フォーマル服レンタル会：アンケート結果（2/3）

< フォーマル服レンタル会の認知度 >

- 別イベント（こども服交換会）の参加者に対して、フォーマル服レンタル会を知っているかを尋ねたところ、「参加したことがある」との回答が7.6%、「知っている」が52.0%、「知らない」が42.4%であった。

【フォーマル服レンタル会を知っているか】（回答数：125）



5. 事業の成果

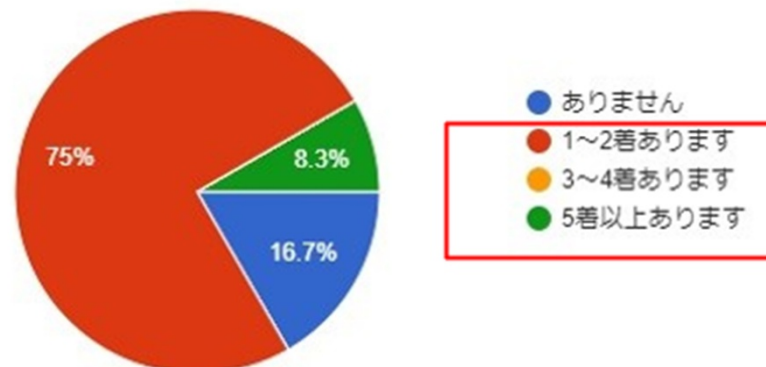
・ フォーマル服レンタル会：アンケート結果（3/3）

< レンタル会で活用してほしいフォーマル服が家にあるか >

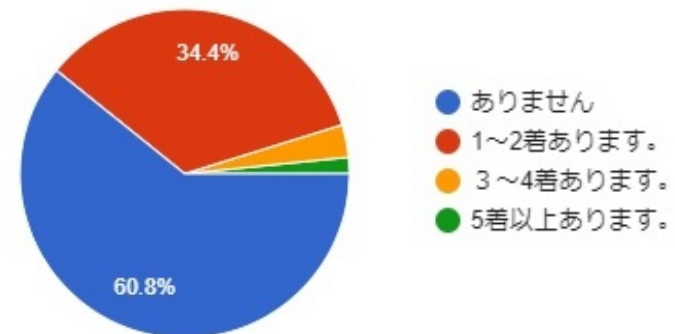
- フォーマル服レンタル会で活用してほしい服が家にあると回答した割合は、同会への参加者では75%、別イベント（こども服交換会）への参加者でも45%見られた。
- 実際に、フォーマル服を捨てられず保管している人が、有効に使ってほしいと全国から送料を負担して当社に寄付いただくことが多く、フォーマル服の無料レンタルやリユースについても支持を受けていることがわかる。

【レンタル会で活用してほしいフォーマル服が家にあるか】

レンタル会の参加者（回答数12）



他のイベント（こども服交換会）の参加者（回答数125）



6. 今後の検討課題

- こども服交換会・おゆずり会、フォーマル服レンタル会の継続・拡大にあたっては、以下の点が課題であると言える。
 - 事前回収に係る人員確保、常設の回収スポットの不足
 - イベント当日の運営に係る人員、開催場所の確保
 - 在庫を保管するスペースの確保、在庫の運搬コスト
 - 告知費用、人件費、会場費等の金銭的成本

- 区の運営する「子育てひろば」（区内20箇所、0～2歳のこどもがいる家庭が主な対象）にこども服の回収・交換を常設で行える機能を実装できれば、日常的にこども服のリサイクル・リユースに関わることができ、また出産後の子育てのサポートに寄与することができると考えられるが、現状、実装の見込みは立っていない。

7. 事業終了後の継続方針

【ノウハウの展開に向けた情報発信】

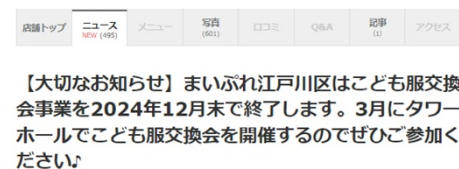
- 次年度以降、区内でこども服交換会等を実施してみたいという団体、こども会、企業等の申し出があった場合は、当社が全面的に協力する（ノウハウの伝授、情報発信等）。
- 当面は、当社がノウハウの伝授可能である旨の情報発信を行うとともに、これまで同活動に参画いただいた区議会議員へ協力予定。

< 情報発信のイメージ >

- 当社が2024年2月に発行する子育て情報誌「子育てちゃんねる」(注)、当社WEBサイト「まいぷれ江戸川区」およびSNSにて、右図の内容を発信。
- 記事内にはこども服交換会の開催経緯、どんな団体におすすめの活動か、当社がノウハウの伝授等を行う旨を記載。

(注) 同子育て情報誌「子育てちゃんねる」は、年2回、各回2万部発行され、区内幼稚園・保育園で配布、子育てひろば・図書館・公共施設に設置される。

(注) 子育て情報誌記事の画像の拡大版はP.23で再掲



▲ 子育て情報誌での発信

Webページでの発信

8. 横展開のポイント

【こども会との連携（1/2）】

- 江戸川区内のこども会は、区内各地の町会の会館を使用することができる。同会と連携することで、以下のような取組が可能となる可能性があり、取組コストの削減や参加者にとっての利便性向上に繋がりうる。
 - 在庫となった衣類の保管スペースの確保
 - 常設の衣類回収スポットの設置
 - 常設のフォーマル服レンタルスポットの設置
 - こども服交換会等で生じた在庫を、別の町会の会館で同様のイベントを開催する際に活用することで在庫保管場所の確保と事前回収の手間を解消できると考えられる。
- こども会ならびにそれに準ずる活動は、全国各地に存在しているため、江戸川区における取組をモデルに、こども会と連携したこども服交換会等を全国で開催できる可能性がある。

8. 横展開のポイント

【こども会との連携（2/2）】

- 当社はこども会の活動への参加を呼び掛ける特集記事を作成し、江戸川区内向けのフリーペーパーに掲載予定（右図）。
- 2023年度の子ども会主催での交換会開催について、子ども会連合会での会合で伝え、今後の開催につなげていけるよう提案する。
- 特にフォーマル服のレンタルは、常設会場で対応できることが理想であるため、区内子供会で協力していただけないか今後も協議する（町会の会館で使えるスペースがないか、窓口対応が可能か等）。

MY TOWN EDOGAWA



子ども会は地域の子どもたちが集まり、社会・文化的活動、レクリエーション、奉仕活動など、さまざまな体験ができる場です。子どもたちが主体の活動で、自主性・協調性・社会性・地域への愛着などを身につけていきます。

地域で子育て 子ども会に参加してみよう

お話：江戸川区子ども会連合会 会長 金杉 正成さん





江戸川ドッチビー大会

子どもの成長には必ずプラスになります。きょうだいがいらない、きょうだいの歳が離れているなどの理由で、子ども同士接する機会を増やしたい方には特におすすめ！



学校とは違う子ども同士のコミュニケーション

異なる年齢の子どもたちが一緒に過ごす、年下の子の世話をしたり、年上の子の行動を見習ったりする機会が自然と増え、成長につながります。子ども会で伸び伸びと活動する子どもの姿を見て、学校ではこんな表情を見たことがないと感じた先生もいました。



地域のリーダーを育成

子ども会活動を中心に、地域のリーダーとして活躍する子どもたちを育成する「ジュニアリーダー講習会」を運営しています。遊びやゲーム、キャンプへの参加を通して集団活動や野外活動の技術を身につけます。小学4年から講習会が始まりますので、興味のある方はぜひご参加ください。

地域とつながるきっかけに

地域の大人に見守られて成長すること、子どもの安心感は増し、育った地域への愛着が生まれます。私自身、長年子ども会に関わっていますが、見違えるほど大きくなった子どもたちから「おじさん、久しぶり！」と声をかけられるのは非常に嬉しいことです。保護者の方々にしても、子ども会が地域とつながりを深める最初のきっかけになるのではないのでしょうか。





ジュニアリーダー講習会キャンプ



地域まつり

「うちの地域はこの子ども会に所属しているのかな?」「どんな活動をしているんだろう」など、気になった方はホームページからお気軽にお問合せください。入会したい方もウェブでのご登録が可能です。



江戸川区子ども会連合会 ホームページ

31

(参考) ノウハウの展開に向けた情報発信のイメージ

- こども服交換会を開催したい団体に対して、当社がノウハウの伝授などを行う旨を発信する記事（当社発行「子育てちゃんねる」2024年2月号より抜粋）

We love Edogawa!

まいぶれ NEWS

広がれ！
こども服交換会の輪

着られなくなった服を誰かのほしい服に…

こども服交換会開始から5年

私たちまいぶれ江戸川区は、2019年から「こども服交換会」を開催してきました。2021年には「ひとりじゃないよ。プロジェクト」の皆さんが運営に参加。「こども服おゆずり会」「フォーマル服レンタル会」など派生イベントも増え、規模を拡大しながらここまで運営してきました。2023年には、私たちの「こども服交換会」を環境庁のモデル事業にも採択いただきました。

いろいろな「こども服交換」の形

私たちは、より多くのファミリーに喜んでいただくため、さまざまな形でこども服交換を考えています。2023年8月には江戸川区が実施した「区政提案プレゼンテーション」に参加し、江戸川区内の子育て施設に「こども服交換スペース」を常設する必要性について訴えました。さらに2023年11月には、江戸川区の貞明子ども会（松江7丁目）からお話をいただき、区内初となる子ども会主催のこども服交換会の実施をサポートしました。

こども服交換会がつなく
地域の子育て

私たちまいぶれ江戸川区は、2024年をもってこども服交換会の運営を退き、主催を「ひとりじゃないよ。プロジェクト」に引き継ぎますが、こども服交換会が江戸川区内でさらに広まるよう引き続きサポートしていく所存です。開催してみたいとお考えの団体様、ノウハウをお伝えしますのでお気軽にお問合せください。

こんな団体様におすすめです

- ✓ 子育て中の方に喜んでほしい
- ✓ 衣類の保管スペースが用意できる
- ✓ 自由に出入りできるイベント会場がある

次回こども服交換会は…

- 3/20（水・祝）12:00～15:00
- 会場 タワーホール船堀1F（展示ホール1）

無料 予約不要

詳細はコチラ▶

開催情報が届く！

子育てちゃんねる

子育てちゃんねる LINE公式アカウント

